

教科名 (科目名)	地理歴史科 世界史特論	履修学年	3 年	学科	普通・フロンティア 科
		単位数 (週当たりの授業時数)		2・3	単位

◆何ができるようになるか (教科・科目の目標)

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に取り組む態度
評価規準	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 知識及び技能を獲得したり、思考力・判断力・表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。また、粘り強い取り組みを行う中で、自らの学習を調整しようとしている。 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。 多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などが深まっている。
評価方法	単元テスト・定期考査 レポート・課題・発表	単元テスト・定期考査 レポート・課題：発表	レポート・課題・発表

○観点別学習状況の評価の組み合わせと評定 (概ね次の表のとおりとする)

観点別学習状況の評価	得点率	評価の組み合わせ	評定
A	100~70	AAA	5
		AAB	
B	69~40	ABB (AAC)	4
		ABC BBB	
		BBC (ACC)	
C	39~0	BCC	2
		CCC	

◆何で学ぶか (教材等)

【教科書】	詳説世界史 (山川出版社)
【副教材】	詳説世界史整理ノート (山川出版社)
	アカデミア世界史 (浜島書店)
	世界史重要語句チェックリスト2025 (啓隆社)
	総合マスター世界史 (浜島書店)
	進研WINSTEP世界史探究 (Learn-s)
	共通テスト対策直前演習 (Learn-s)

◆どのように学ぶか (授業方法、学習方法)

○教科書の内容を、学習ノートを利用して進めます。さらに、資料集で確認をしていきます。教科書にチェックを入れたり、地図でまとめたりすると、理解が深まります。
○授業では、語句を確認するだけでなく、「どのように国家が形成されたのか」「なぜこうした事象が起こるのか」といった考える場面が多いです。積極的な授業参加が望まれます。

◆いつ、何を学ぶか（学習計画・内容）

時期		学習内容	評価方法		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的態度
1 学 期	4月	第Ⅲ部 第12章 産業革命と環大西洋革命	○単元テスト	○発表・プレゼン ○単元テスト	○自己評価・相互評価
	5月	第13章 イギリスの優位と 欧米国民国家の形成	○単元テスト	○単元テスト	○ノートの記述内容
	6月	第14章 アジア諸地域の動揺 ○1学期期末考査	○期末考査	○レポート	○ノートやレポート の記述内容
	7月	第15章 帝国主義とアジアの民族運動 第16章 第一次世界大戦と世界の変容	○小テスト		○授業の発言や 行動の観察
2 学 期	8月	第17章 第二次世界大戦と 新しい国際秩序の形成	○単元テスト	○レポート	○レポートの記述内容
	9月	第Ⅳ部		○発表・プレゼン	○自己評価・相互評価
	10月	第18章 冷戦と第三世界の台頭 第19章 冷戦の終結と今日の世界	○単元テスト		
	11月	共通テストへ向けての演習 ○2学期期末考査	○単元テスト ○期末考査	○単元テスト ○レポート ○期末考査	○ノートやレポート の記述内容 ○授業の発言や 行動の観察
	12月				○ノートやレポート の記述内容
3 学 期	1月	○大学入学共通テスト	○レポート	○レポート	○レポートの記述
	2月	○個別試験対策			
	3月				